

# 遠野の未来・可能性に挑戦

全国に先駆け始まった同事業の初期メンバーが3年の任期を終えました。

遠野に移り住み、地域の資源を生かした起業に挑戦した彼らに

①取り組みの内容と成果②今後の活動一を聞きました。



1\_遠野の素材を生かしたクラフトビールや料理が楽しめる「遠野醸造TAPROOM」をオープン 2\_富川さんが立ち上げた「to know」が展開する遠野の歴史文化を学ぶ活動 3\_どぶろく造りの修行をする八重樫さん

ん(左) 4\_市民と試行錯誤を重ねながら取り組んだ小友ようかん復活への挑戦 5\_小関さんが開発した家の中に設置する家「アセンブルーム」 6\_地元高校と連携した地域探究活動を展開する室井さん



田村淳一  
じゅういち

**ビールの里 プロジェクト**

①木ッ朴収穫祭実行委員長を務めながら、「ホップの里からビールの里へ」のビジョン具現化に向け挑戦。昨年、ビールの里をプロデュースする組織「㈱TAPROOM」を創業。遠野のホップとビールを楽しむ、産業として遠野を楽しみ、産業として遠野で創りたいです。

②新フルワリー・ホップ博物館などの施設配置を構想中。みんなが遠野のホップとビールを楽しむまちづくり推進に仲間と取り組みました。



太田睦  
むつみ

袴田大輔  
だいすけ

①ビールを通して地域資源をつなぎ、輝かせることで産業振興を目指しました。着任後、㈱遠野醸造を設立。昨年5月には、醸造所を生かしたクラフトビールを作り、楽しんでもらえる場所を造ることができました。  
②今後も地域素材を生かしたビールを作り、たくさん的人に愛されれる場所を目指します。遠野のビール文化と一緒に育てましょう!

**低コスト住宅開発 プロジェクト**

①180万円で5、6年住める家作りに挑戦しました。バン1台で旅行や宿泊ができる家「パンパコ」を開発し販売を開始。また、冬に賃貸住宅でも改修することなく快適に過ごせる方法を考え、家の中に設置する家「アセンブルーム」を作りました。開発した2点の魅力を伝えながら、販売活動を取り組みます。3年間の経験を結して拡大する仕組みも検討したいです。

②小関直さん  
ただし

**発酵／どぶろく蔵人 プロジェクト**

①3年間、民宿とおののの修行をしました。(材木町)でどぶろく造りの修行をしました。無農薬・無肥料にこだわった米作りから、どぶろくの仕込み、どぶろくを使った酢の醸造技術を学習。どぶろくは、旅館とおのののスタッフとしてどぶろく醸造に携わることになりました。米農家さんと協力して、どぶろく造り、販売にも挑戦。新しいビジネスモデルを実現したいです。

②八重樫海人さん  
かいと

**デザイン プロジェクト**

①産直ガイドやホップシロップなど遠野のさまざまなデザインに関わることになりました。「小友ようかん復活を目指す産直とともに、遠野を拠点に、活動範囲を東北に広げ地域の魅力を発信します。3年の活動でさまざまな人たちとのつながりが持てました。今後も遠野を拠点に、活動を展開しました。  
②3年の活動でさまざまな女性たちと試作やパッケージ作りに挑戦。昨年春には試験販売を始め、本格的に販売を始めた。商品づくりに意欲的な活動が市内の若者にも関わっています。「小友ようかん復活」を目標に、本格的に準備を進めています。次回の段階では、「アデザインは問題解決の手段」を理念に、今後も小友ようかんの運営や「遠野の魅力」に貢献する商品づくりに意欲的な活動が市内の若者にも関わっています。「アデザインは問題解決の手段」を理念に、今後も小友ようかんの運営や「遠野の魅力」に貢献する商品づくりに意欲的な活動が市内の若者にも関わっています。

③アデザインは問題解決の手段」を理念に、今後も小友ようかんの運営や「遠野の魅力」に貢献する商品づくりに意欲的な活動が市内の若者にも関わっています。

橋本亮子さん  
りょうこ

**地域の魅力発信 プロジェクト**

①「磨けば光る」ではなく、既に光っている遠野の地域資源。いいものを知つてもらう仕組みや伝え方が重要です。移住後は、「富川屋」と「to know」を立ち上げ、遠野の人・企業文化など、資源の魅力を知り、好きな企画・もらえるような企画・デザイン情報を発信を展開しました。  
②3年の活動でさまざまな女性たちと試作やパッケージ作りに挑戦。昨年春には試験販売を始め、本格的に販売を始めた。商品づくりに意欲的な活動が市内の若者にも関わっています。「小友ようかん復活」を目標に、本格的に販売を始めた。商品づくりに意欲的な活動が市内の若者にも関わっています。

富川岳さん  
がく

プロジェクトの詳細はフェイスブックへ!  
公式アカウント  
「Next Commons Lab 遠野」  
プロジェクトの概要やメンバーの活動状況、イベント情報をフェイスブックで紹介しています。

QRコード

公式フェイスブック QRコード

2019-10 ●広報遠野 6

**地域コーディネーター**

①この事業の各プロジェクトに関わり、メンバー同士や市内外の人たちをつなげる役割を担いました。また、誰かの「挑戦」を応援できるような場所づくりにも力を注ぎました。遠野には面白いアイデアや素敵な恵みと技術を持ついる人がたくさんいます。遠野で、個人の「チャレンジしたい」気持ちを大切にし、応援できるような活動を続けていきたいです。

室井舞花さん  
まいか

国に先駆け、平成28年8月に始まった「遠野ローカルベンチャー事業」。国の「地域おこし協力隊制度」を活用した取り組みで、事業は、㈱ネクストコモンズ(林篤志代表)と本市が連携し、都市部から人材を採用。メンバーは地域おこし協力隊として遠野に移住し、3年の任期で地域の人たちと一緒に力を合わせ、地域資源を生かした起業に挑戦しました。参加者アンケートによると、「後継者不足だった事業を続けるきっかけになった」「外部人材の意欲的な活動が市内の若者にもいい刺激を与えていた」「知恵と行動力が遠野の財産になつていています」などの意見が寄せられています。市外から着任した隊員の経験と斬新な視点、行動力などが遠野の歴史や文化、ホップ・どぶろくなどの資源を輝かせ、地域に活力をもたらしています。

遠野で新たな可能性を創り、形にした8人の隊員たちは、次のステージでチャレンジを続けています。遠野をもつと元気に、地域の魅力をより輝かせようと、その歩みに力を込めています。